

ロシア連邦のウクライナ侵略に抗議し、即時撤退を求める決議(案)

ロシア連邦は2月24日、ウクライナへの軍事侵攻を行った。民間人を含む多数の犠牲者が出ている。これは国連憲章や国際法を踏みにじる侵略行為そのものである。ロシア国内を含め、世界中で抗議の声が広がっている。

品川区は、1985(昭和 60)年に非核平和都市品川宣言を行い、「一刻も早く、核兵器をなくさねばならない。頭上に核の閃光がひらめく前に。遅すぎたとき、それを悔やむだけの未来すら、我々には残されていない。」と、恒久平和確立と核兵器の廃絶を全世界に訴えてきた。今回プーチン大統領がロシアが核兵器大国であることを誇示し、「われわれに攻撃を加えれば不幸な結果となるのは明らかだ」と公言、欧米の批判や制裁の動きに対抗する姿勢を見せていることは、核の威嚇にほかならず、全世界の核兵器廃絶と平和を希求する願いを踏みにじるものである。

よって、品川区議会はロシア連邦のウクライナ侵略に強く抗議するとともに、軍事作戦を直ちに中止し、撤退することを強く求める。

以上、決議する。

2022(令和4)年3月*日

品川区議会